

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成30年 7月27日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地）	報告者の氏名（法人にあっては、名称及び代表者名） ニッタ・ハース株式会社 代表取締役社長 千葉 光隆

環 境 マ ネ ジ メ ン ト シ ス テ ム の 名 称	JIS Q 14001:2015(ISO 14001:2015)
適 用 範 囲	ニッタ・ハース株式会社 京都工場、三重工場ほか3箇所
導 入 年 月 日	2001年 3月28日
認 証 番 号	JUSE-EG-045
基 本 方 針	地域及び地球環境への影響を考慮して、環境負荷を限りなく低減し、環境汚染予防に努めます。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	省エネルギー（CO ₂ ） ・・・対前年比で原単位1%削減 廃棄物排出量の削減 ・・・対前年度比で原単位1%削減
目標を達成するための取組の内容	省エネルギー（CO ₂ ） ・・・室内温度の適正化。ボイラー、コンプレッサーの省エネタイプへの更新。昼休みの事務所消灯。 廃棄物排出量の削減 ・・・不良品、廃棄ロス等の削減。
目標を達成するための取組の進捗状況	省エネルギー（CO ₂ ） ・・・省エネタイプへの設備更新は実施済み。 廃棄物排出量の削減 ・・・不良品、廃棄ロス等の削減活動は継続的に実施中。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画に基づき取り組むことができている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況は年1回確認を行っている。また、関連法規の法改正状況を月1回確認を行い、関連法規の法改正があった場合には速やかに法令順守の対応を行っている。 違反及び行政当局からの指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムは内部監査および外部審査機関により年1回審査され適合性を担保している。 2018年1月に適用規格をJIS Q 14001:2004(ISO 14001:2004)からJIS Q 14001:2015(ISO 14001:2015)に改訂した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。